

事務事業名	中国残留邦人生活支援給付金支給事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5011					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	福祉総合相談課	課長名	小林 千江					
			所属担当	生活保護担当	担当者名	沢登 俊輔					
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	03	02	030	01	
施策	27	地域福祉の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H20 年度)			法令根拠	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業						
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)								
	中国残留邦人等の労苦を労い、老齢基礎年金満額受給に加え、支援給付を行うことにより、安定した生活を営めるよう支援する。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
			扶助費	9,984							
					計	9,984					

1 現状把握(DO)

① 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	安定した生活を送ってもらうため、支援給付金の支給を行う。
	26年度活動予定	安定した生活を送ってもらうため、支援給付金の支給を行う。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	中国残留邦人等	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	高齢者であるため医療支援も含め、安心して安定した生活の確保	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	住み慣れた地域において安心・安定した生活を送ることを支援することにより地域福祉の充実につながる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 国が認めた中国残留邦人	人
	イ	
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 支援給付支給世帯数	人
	イ 支援給付支給人数	人
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 生活支援給付支給延べ人数	人
	イ 医療支援給付支給延べ人数	人
	ウ 介護支援給付支給延べ人数	人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 安心して暮らせると思っている残留邦人	人
	イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円	6,775	6,890	7,488	7,488	7,488	7,488	
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,292	2,297	2,496	2,496	2,496	2,496	
	事業費計(A)	千円	9,067	9,187	9,984	9,984	9,984	9,984	9,984	0
	正規職員従事人数	人	4	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	8,060	4,030	4,030	4,030	4,030	4,030	4,030	
	人件費計(B)	千円	36,681	18,341	18,341	18,341	18,341	18,341	18,341	0
	(A)+(B)	千円	45,748	27,528	28,325	28,325	28,325	28,325	28,325	0
活動指標	ア	人	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	
	イ									
	ウ									
対象指標	ア	人	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
	イ	人	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	
	ウ									
成果指標	ア	人	93.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	
	イ	人	178.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	
	ウ	人	27.0	36.0	36.0	50.0	60.0	60.0	60.0	
上位成果指標	ア	人								
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	・平成20年4月1日開始。 ・中国残留邦人の特別な事情に鑑み、安心して老後の生活を送ることを目的としたもの。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	制度が開始されてから5年を経過したが、対象者からは事業に対する苦情もなく順調と思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	中国への渡航費用の支援をほしいとの要望有り。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	国で定められた事業であり、基準に沿った支援を行っている。事業について自治体の判断で変更改善はできない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	中国残留邦人生活支援給付金支給事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉総合相談課
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 国の法定受託事務である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 国の法定受託事務である。 国の法律により定められた負担を行う。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 国が定めた対象に対しての業務であり、対象がいるかぎり継続する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 国の実施要領に基づいた事業である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法律制定の目的が達成できない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 法定受託事務であり、実施要領に基づいた業務を行っているため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 対象者が少なく、担当ワーカーも1名である。生活保護担当職員が兼務により業務にあたっている状況でもあり削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 特定されて入るが、国の制度である。 対象者が過去に置かれた立場や経験などを考慮し、特別な人のみへの支援給付事業であるため公平性はある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の法律に基づき実施している事業であり、継続して実施していく。 対象者が高齢化しているため医療費・介護費の増加が見込まれる。 対象者が減り続けると業務が消滅することとなる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					